

# 弓道いばらき

平成29年7月 第39号

発行所 取手市駒場1-22-31  
茨城県弓道連盟  
理事長 大峰 芳樹  
電話 (0297-72-3245)  
<http://ibakyuren.com>

## 平成二十九年度に向けて



茨城県弓道連盟 会長 久保田 清

今年度から年度末に行われていた理事会、代議員会が決算報告の都合で5月に行われることになり、4月からの行事が予定案のままで行われて先行実施しております。多少の混乱はありますが会員の皆様にはご了解をお願い致します。

本年度は全日本弓道連盟主催の行事で新たに加わる大会と、出場選手の選考方法が一部変更になる大会があります。

新たな大会は都道府県対抗弓道大会です。選手構成は50才未満2名、50才以上3名の5名1チーム(女子1名以上含む)。今年度は全日本少年少女弓道錬成大会(日本武道館)の翌日に開催されます。もうひとつ

次に県内に目を移しますと、全弓連による年間都道府県ランキングがここ数年低迷していましたが、昨年は10位台に躍進いたしました。清真学園高等学校の鳥取インターハイと愛知全国選抜大会での優勝が大きなポイントになり、日立製作所が全国勤労者大会の3位、岩手国体成年女子遠の入賞等の活躍が躍進につながりました。中体連においても清真学園中女子が優勝、男子が3位、個人の部2位と活躍が見られました。審査では福地平(原子力機構)の七段合格を筆頭に教士3名、錬士6名、六段5名、五段に9名とおおいに健闘されたと思います。

県内の大きな事業としまして、今年度は関東北指導者育成講習会が6月24日、25日の2日間武道館で、関東地区錬士臨時中央審査が11月11日、12日の2日間で行われます。錬士審査を2日に分けて実施するのは全国初の試みで運営面での戸惑いもある

かと思いますが、役員にあたる方はマニュアルに沿って進めて下さるようお願いいたします。次年度の関東ブロック大会、勤労者全国大会、2年後の茨城国体と大きな大会等を次々と開催するにあたって役員一同、関ブロ、勤労者、国体等の視察を重ね着々と準備を進めていますが、競技役員不足を痛感しています、我こそはと思う方は支部長を通じて名乗りを上げていただければ幸いです。

最後に任期途中ではありますが競技部長が小松正幸氏から中嶋鉄郎氏に代わりましたので宜しくお願致します。今年度における会員各位の更なる飛躍を祈念いたしております。



# 平成二十九年に向けて



理事長 大峰 芳樹

平成28年度の理事会及び代議員会は、茨城県職業人材育成センターにおいて5月13日・28日に開催しました。ご出席いただいた役員・理事・代議員の方々には、ご多忙のところ誠にありがとうございました。お蔭さまをもちまして、議案等につきまして全ての議決をいただきました。

今回の事業報告では、第61回全国高等学校弓道大会及び第35回全国高等学校校弓道選抜大会において男子団体の部優勝を清真学園が2大会での優勝を遂げており、第60回関東高等学校弓道大会、男子団体の部準優勝及び男子個人の部第3位を清真学園、また中学生では第13回全国中学生弓道大会、団体

女子の部優勝、男子個人の部準優勝、団体男子の部第3位を清真学園が占め、優秀な成績を収めていくことが報告されました。茨城国体に向けて期待する所です。

また、平成29年度の事業計画では、各専門部長や高体連委員長との会議を重ね主に茨城県武道館会議を経て作成したものです。今年度は茨城県武道館の近的場・遠的場の茨城国体に向けた改修工事が終了し、競技大会は通年での計画が出来ました。皆様方の一層の参加をお願いいたします。

役員の変更では、競技部長が中嶋鉄郎先生に変更になり議決をいただきました。

茨城県弓道連盟主催県内競技大会実施要項の改正では、昨年度2回の総務企画委員会を開催し、県民総体兼国体選手選考会の表彰について称号受有者の人数も増加していることなどを鑑み、有段者と同様に男女の部を設けそれぞれ1位から3位までの表彰とすることで見解がまとまり提案し議決をいただきました。

役員の改選では、競技部長が中嶋鉄郎先生に変更になり議決をいただきました。

報告事項では、国体事務局から再来年の茨城国体に向けての報告がありました。最初に茨城国体競技役員組織ですが、競技委員長をトップに六委員長として、審判委員長、総務委員長、総合成績計算委員長、近的運行委員長、遠的運行委員長、会場委員長を配置し、審判を除く各委員長の下に八係長を置き、二十四の主任、そして委員を設置して県内役員166名、県外役員11名の説明が行われました。本大会は平日・休日を問わずに実施される関係で勤務の都合など配慮が必要で人員の確保が

苦慮される状況にありますので皆様方のご協力をお願いするものです。次に視察の計画ですが群馬県で行われる7月の国民体育大会関東ブロック大会、愛媛県で9月に行われる愛媛国体についての説明が行われました。以上が理事会・代議員会での主な内容です。

次に、全日本弓道連盟の制度の制定ですが、平成29年度は「審査委員・審判委員・講師 公認資格認定制度」の施行の周知と準備・体制整備期間と位置づけ、昇段審査・各種講習会・各種競技大会を公平・公正に運営するため、審査会、指導講習会・研修会、競技会を公認資格を有する委員により正しい運営が行なえるよう、制度化され茨城県弓道連盟では4月1日の講師・審査員研修会で水戸武道館で行われたところです。

また、今年度は茨城県弓道連盟として関東指導者育成講習会、関東地区錬士臨時中央審査、連合

審査などを計画しております。これらの県外の弓道人を招く諸行事に関して的確に運営し、役員や専門部が丸となって取り組み、茨城の印象をより良い方向に持っていきたいと願っております。

茨城国体まで2年と迫っていますが、今年度の視察、そして来年度の6月に実施される全日本勤労者弓道選手権大会(いきいき茨城ゆめ国体弓道競技のりハーサル大会)、また、8月には国民体育大会関東ブロック大会を実施することとなります。大きな大会が翌年に迫っていますが役員・各専門部として会員の皆様方のお力添えをいただき万全に準備を整えていきたいと考えます。



## 総務企画委員会の歩み



総務企画委員長  
明間 勲

総務企画委員会の役割は、茨城県弓道連盟総務企画委員会規約第2条に委員会は、弓道指導方針の策定、審査会の合理的運行の検討、国体選手強化計画策定、連盟活性化の施策など、会長が会務に要する重要案件の付託し、長・中期的にまとめて報告するものとする、となっております。

昨年度から、3月末の代議員会が5月末に延期となり、理事会、代議員会5月28日に行われ、新役員でスタートしました。  
第1回委員会は、武道館会議室（小会議室）  
第2回委員会は、取手グリンズポーツ会議室

### 議題

(1)平成30年度茨城国体競技役員組織について、役員編成について

は、国体事務局で案を作成し、岩手奥州国体視察団にメンバーに視察内容を確認することになりました。

(2)県内競技大会実施要項の見直し、  
(イ)入賞決定戦が長時間かかるため、持ち的遠近法を使用する。  
(ロ)称号受有者多くなり女子の先生方から、女子の部を設けて男子部・女子の部を各1〜3位を表彰する、となりました。  
(3)教士・錬士の講習会が年2回からもっと回数を増やせないか。  
教士・錬士の講習会を外部講師招き時間の余裕がほしい等々議題になりました。

指導部案が、代議員会で承認され今年度2月に、外部講師を招き2日間の講習会を開催することになりました。

弓道人口の増加は全会長からの

議題でもありますが、ここ数年弓道人口は増加してない。各支部で楽しく稽古はされているとは思いますが、大会・審査に参加されない仲間をもっと積極的に参加して切磋琢磨して自分の成果を試すのもよい機会だと思います。どうせ中りがないからと言って、大会にも参加しないではいつまでも自身の悪い癖など出し切れないのでは、大会・審査に参加して、初めて自身の癖が見えてくるのではないかと引退した、スケート選手で有名な荒川静香は、テレビ放映されるのは、成功した部分だけが放映されるが、本当は成長する前の陰には本当の多くの失敗と辛い努力がないと成長が見えてこないのだと言っています。

まにするな。あるがままに受け入れよと、お釈迦様はおしえてくれます。そしてそれが思うままにならないことを見極めるのが「明」めで、世間で言う諦めは仕方なしに断念することですが、仏教語では「明らめ」は物事の道理をはっきりさせること。もっと言うくと、結果に対する原因など存在しないのだと悟ることを意味します。

### 公認資格認定制度について

あなたは、講師になった場合、受講生の成長のために、どのようなことを心掛けますか、について。日本弓道連盟の基本理念にあるように、弓道の練習や競技の場におけるセクハラ、パワハラ、暴力行為等を防止するため、関係者は常に注意をするように努めなければならなりません。よい成績を上げるように期待されている、よい成績を上げれば、よい指導者とされるから、とにかく試合に勝つ勝利主義にはしりがちです。それぞれの指導者は自らの実績作りのため、選手を厳しく鍛え上げ、危険性がある、とにかく練習量をこなさな

ければならないと考えがちですが、スポーツで大事なものは、選手が自分で考えること、勝つためには相手をよく見ること（見取り稽古）観察して相手のよいところを見て考えなければなりません。高校生以上ならば出来ることで、指導者は選手個性を見ながら「自分で考えさせる」ように育てていくことが求められます。私は選手を見るのではなく、指導者が選手に何を指導しているかを観させてもらいます。茨城国体が目の前で、指導者は毎日少しでも上達することを考えて指導されていると思います。日本の武道は、弓道は、「形」を大切にする、それはただ形に従えばいいというものでもありません。どうしてこの形なのか、自ら考えることが求められます。それは形を持つ合理性を理解して訓練をした上で目指すもので弓道を極めるもので集中して練習することが必要です。





# 茨城国体に向けて



国体事務局長 森 昭夫



## (1) はじめに

茨城国体があと2年後に迫ってきました。国体組織図が出来上がりつつありますが、皆様のご協力をお願い致します。現在、競技役員予定者名簿作成のため全員に国体出勤アンケート(競技役員動向表)を開始していますが、平日出勤の方が少ないことが予想されます。まだ役員募集の締め切りは行っていません。シニアの方々の役員応募を支部単位で受け付けていますので、支部長を通して応募されるようお願いいたします。お待ちしております。

## (2) 施設改修

現在に至るまでのお話しさせていただきます。振り返りますと、平成25年1月に全日本弓道連盟の国体正規視察(宇佐美、柴田先生)がありました。近の会場での主な指摘事項としては

・西日対策

・観覧席の整備…国体は一般の人の見学も大切にして欲しいとの要望があります

・師範席の皇族対応 などです。

第一期工事として平成27年12月に近の射場の西日遮光フェンスが完成しました。高さ10m、長さ42mの巨大フェンスです。長年の改善希望が叶っております。これについては前号にて写真入りで報告しています。

第二期工事として今回、観覧席と師範席の工事を完了しました。

観覧席につきましては屋根のみの設置となっておりますので、国体本番では屋根の下に仮設のベンチを階段状に設置するよう水戸市側に提案します。

次に遠的会場の方ですが、従来の射場では射場の幅が狭く、また床の痛みも激しいこと、的場が仮施設で、国体開催には不適切との指摘でした。

そこで、射場は間口12mを16mに広げ、的場方向に6mに拡張し床面積を増やす増築工事と、的場は仮設から恒久化施設にするよう県側にお願いたしました。

工事は、設計が(株)桜設計事務所様、施工は株木建設(株)様で昨年8月から12月末で完了し、今年1月31日に武道館への引渡しとなりました。

的場は前強化部長の竹之内氏が図面を書き県に提案して、それを更に保健体育課と桜設計の山田部長がブラッシュアップし、現在の形になりました。

完成した射場の方は、一つだけ難点があると捉えています。それはシャッターボックスが屋内にあることです。建設途中でも色々検討してみましたが、身長170cm以上の方で上押の強い場合に、弓のうら弦がシャッターボックスを叩く恐れがあるということです。

これについては射位をずらすことで対処可能ですが、あまり射位を下げて雨天時には、的が雨にかかる恐れがありますので、現在は射場の上り框から2.2mに射位を決めて、様子をみています。5月に開催された最初の遠的大会が何事もなく終了したことで安堵しています。

残っている課題は遠的射場の観覧席です。ご承知の通り矢道の右側にはフェンスがあり、背の高い植栽が植えてあります。仮設の観覧席の前に植栽があると射場や的場が観難い問題になってしまいますので、移植または伐採をお願いすることになります。



拡張された遠的射場、天井はLED照明です



仮設から恒久施設になった的場

## (3) 国体視察

昨年度はいわて国体を視察してきました。今年は福井県敦賀市で開催される国体リハーサル大会を視察計画しましたが、生憎と県内大会と重なってしまいましたので、7月23日に開催される群馬県前橋市での関東ブロック大会に、国体組織図の主任クラスの方々19名に視察をお願いすることになりました。また、愛媛県松山市で今年の国体が開催されますので、こちらには久保田会長以下委員長、係長クラスの方々7名に視察依頼しています。

今年には県より「開催準備活動支援事業費」として20万円の補助金が出るようになっていきますので、有効活用してまいります。

## (4) 終わりに

来年は6月に国体リハーサルとしての全国勤労者大会、8月に国体関東ブロック大会が開催されます。ご存知のように勤労者大会は近ののみですが関ブロは国体本番と同じく遠的、近的どちらも実施します。茨城チームとしては、この素晴らしい遠的場を十分に活用され、「仏作って魂入れず」にならないように、国体強化選手の皆様のご活躍をお祈りいたします。

# 専門部だより

## 指導部



部長 川瀬 政人

平成28年度行事は武道館工事も終了し例年通り各二回開催

することが出来ました。しかし以下の講習会「第一回五段講習会」「第二回錬士講習会」「第二回教士講習会」は武道館一部工事の都合上、神栖武道館での開催となり参加者には大変ご不便をおかけいたしました。が、会員皆様のご協力を得まして全講習会を計画どおり無事終了することが出来ました。参加者合計、552名と大勢の参加があり、これも偏に講師の先生方、各役員、受講者各位のお蔭と御礼申し上げます。

また、支部指導者講習会受講者が各支部にて開催された、伝達講習会は36支部にて実施(内2支部が合同開催)492名と大勢の参加があり御礼申し上げます。(この講習会に参加された方は審査申込書の講習会受講履歴欄に記入出来ますので、審査を受審する際は記

入漏れないように願います)

一方、県外審査での昇段・昇格者は、中央審査で七段(1名)、教士(3名)、六段(5名)、錬士(6名)、計15名、連合審査では五段(9名)、計24名の方が昇段、昇格されました。心よりお祝い申し上げます。平成29年度も多数の方が講習会に参加して戴き、射技・体配を磨き、更に多くの昇段、昇格者が誕生されることを祈念いたします。

指導部としては本年度も全日本弓道連盟から通達されている「平成29年度指導方針」に基づいて講習会を開催致します。(公認資格認定制度・資料集に記載)

- 「弓道教本及び副読本に基づいた基本の徹底」
- 指導者の心得(地区指導者講習会及び指導者育成講習会)の4項目
- 指導項目(地区指導者講習会及び指導者育成講習会)の7項目
- 「学校弓道指導者講習会」
- 弓道教本及び副読本に基づいた基本の徹底
- 指導者の心得(学校弓道指導者講習会)の4項目
- 指導項目(学校弓道指導者講習会)の4項目

更に指導部の行事で新たに2つの行事を企画致しました。

### 一、審査員・審判委員・講師公認資格認定制度「地方委員資格」の実施。

対象者は錬士五段以上で本年中に全員が資格に係る講習、検定試験(筆記及び実技)を受けて取得し戴くこととなります。

既に、4月1日実施の講師・審査員研修会にて錬士六段以上対象で開催しました。一度に全員実施が不可能なので年内に実施される教士講習会(6/18・10/7)、錬士講習会(7/29・9/30)、支部指導者伝達講習会(7/23)の何れかにて受講し取得願います。(注)「修了書・認定書」の発行は全講習会終了後に発行されます。

「公認資格認定制度について」は次の様に記されています。全弓連盟は平成25年4月4日に開催の臨時評議員会において承認された「改革大綱」によって基本的事業(昇段審査・各種講習会・各種競技大会)を公平・公正に運営するため、審査会、指導講習会・研修会、競技会を、公認資格を有する委員により正しい運営が行えるよう、制度化することになりました。なお、制定した規程類は平成28年6月2日第1回理事会において承認され、同年6月23日開催の定時評議委員会に提示してお

ります。この制度の名称を「審査員・審判委員・講師 公認資格認定制度」称し、要点は左記のとおりです。

#### 《要点》

- 公認資格の区分は中央委員と地方委員の二区分とする。
- 全弓連の公認資格は日本体育協会の認定する「公認スポーツ弓道指導者」等とリンク(連結)することとした。
- 資格の保有期間は有効期限付きとして更新出来ることとした。
- 資格の認定機関は、中央委員は全弓連とし、地方委員は各地連盟とする。

認定方法は「公認資格認定講習会」とし、各種講習会・研修会の日程内に組み込み進める。

- 日本体育協会の資格(指導員・上級指導員・コーチ)は日本体育協会が認定する。
- 公認資格保有者の管理は別に定める「名簿」による。
- 制度の施行
- 施行の周知と準備・体制整備期間 平成29年4月1日～平成30年3月31日
- 施行日 平成30年4月1日
- (その他)

平成30年度の各種事業で公認資格が必要な部署の要員は、この制

度により「名簿」に登録された認定委員が行うこととする。

右記の要点を別紙の「審査委員・審判委員・講師公認資格認定規程の概要」に示す。

(注)「詳細は全弓連発行の【審査委員・審判委員・講師】公認資格制度 資料集」に記載

### 二、外部講師招聘講習会の実施

#### 《趣旨》

本連盟の段位上位者、特に錬士六段以上を対象に弓道の倫理と実技講習を実施し、各自の力量を高めるとともに指導力の向上を図り本連盟会員への波及効果を期し連盟の発展に資する。

- 主催：茨城県弓道連盟
- 期日：平成30年2月24(土)25(日)
- 日程：2月24(土) 受付8:30
- 開講式9:00～終了16:30
- 2月25(日) 受付8:30
- 開講式9:00～閉講式13:30
- 開始9:00～閉講式13:30
- 参加資格：錬士六段以上
- 講師：全日本弓道連盟中央講師
- 申込先：314-0257
- 神栖市太田新町三十三二十九
- 県弓道連盟指導部長 川瀬政人
- TEL：0479-46-1103
- 携帯：090-4565-8002
- メール：ibaraki\_kyudo\_
- sidoubu@yahoo.co.jp
- 参加料：4000円



- ・申込み期限：平成29年11月1日（水）12月1日（金）必着（入金確認出来た人）
- ・持参品：弓具、弓道教本、副読本、筆記具、昼食
- ・その他：和服着用

（注）申込み期限は通常の20前まではありません、ご注意下さい。  
最後に本年度も講習会に多数参加と会員皆々様の精進とご活躍を祈念いたします。

### 審査部

部長 和泉 武



昨年度は一昨年度に続き水戸武道館改修工事が継続されることからのスタートになりました。

（水戸武道館の使用は上期のみ）  
経験とは有り難いもので、一昨年度同様の代替審査会場の開拓から運営までのプロセスは関係の先生方、支部長、そして審査部員のお力添えを得て全ての審査は滞りなく計画通りに終了することが出来ました。勿論受審査の皆様のご協力も忘れてはおりません。審査委員を務められた先生方々、審査部員の方々、審査に関わる全ての皆様のご協力に紙面をお借りし御礼申し

上げます。

さて、昨年度の県内審査会の実績を振り返ってみます。中高生審査会回数は第4回にわたり行われ、水戸・土浦・取手・ひたちなか・東海村5会場に新たな「神栖」「笠間高校」の2会場を加え合計7会場での開催になりました。延べ13射場で行われた受審者数は2409人。同じく一般審査会は3回にわたり2会場3射場で368人の実績でした。両審査会受審者数に連合審査受審者数を加えた合計人数は2948名となります。中高生審査会だけを見ると、対前年比96名の減少、一般審査受審者数は75人の増加となり連合審査を含む全受審者数対前年比はマイナス7名で過去4年の増加傾向は収束したかの感が致します。

今後の推移を注視しながら今後の対応を図りたいと考えております。増加傾向は止まり現在の水準で推移すると仮定しても、昨年度の運営実態を顧みると道場キャパ（特別演武を実施して1射場180人）を余儀なくされた審査会は数回発生致しました。此れに携る全ての方々のご苦勞を目的の当りにすると頭の下がる思いをし、同時に今後の改善の必要性を強く感じた次第です。昨年と変わらな

い環境下にある今年、更に気遣い怠りなく審査に集中出来るよう努めてまいるのでございます。  
さて今年度、改修工事の完了は年間を通し継続的使用が可能になる筈でしたが…：新たな課題を抱えたスタートになりました。それは年間スケジュール通りの予約が取れない悩ましい課題であります。

水戸武道館弓道に限らず他の公的審査会場（控室、学科試験場を含む）も軒並難しい状況にありました。この状況に対応すべく今年度は、(一)土曜日の開催検討、(二)中高生審査と一般審査の同時開催等の検討に合わせ、(三)適切な射場当たりの受審者数にすべく昨年並みの射場数プラス1射場の増加を検討し確保しました。数字合わせから見ると、昨年度以上の条件確保が出来たと判断しておりますが実際に運営する段階では、土曜日の開催、偏った地域での会場確保は受審者にとり、又審査員の先生方・運営役員にとっても心身ともに（金銭も？）負担を掛けるのではと懸念を抱えてはおります。諸般の状況をご理解の上宜しくご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今後の安定的会場確保と射場当たりの受審者数の適正化を図るた

め次の2つを継続的に検討したいと考え、次年度には具体的改善策を具現化したいと考えます。  
①最適地域別審査会場と学区区分の検討

②安定的会場確保（公的施設に拘らない。例えば審査会場の条件を満たした学校を会場の候補にするなど）  
以上の改善案の実現は受審者側にとっても、主催者側にとっても大きな効果に繋がるものと思いき、しかし審査部独自での実現は不可能であります。県連会長始め役員の方のご協力は不可欠です。関係の皆様のご協力を得て是非進めて行きたいものです。

今年も円滑な審査会運営に最大の努力を傾注いたします。皆様のご協力を切お願い申し上げます。  
**審査部からのお知らせ**  
一、審査申込に関係するお願い。  
①申込締め切りの厳守（守られないケースが依然として多い）  
②申込事務手続を正確に行って下さい。審査申込書記入の不備（認め印、申込年月日、会員ID等の記入漏れ）  
③審査申込書と弓道級段審査申込書の不一致（金額集計計算ミス・振り込み金の過不足・審査

種別人員の不一致等

④申込書の送り先の間違え（県内審査申込書は取手支部の新井先生宛、県外申込書は藤代支部の菊地先生宛です）  
再度中・高体連及び支部代議員会で配りした資料をご確認下さい。  
二、審査当日のご注意事項  
お忘れ物があり処分に困っております。忘れ物をしない、持ち物には氏名を書く等の対応をお願い致します。

### 競技部

部長 中嶋 鉄郎



このたび小松正幸先生の後任として競技部長の重任を仰せつ

かりました筑西五所宮支部の中嶋です。副部長には土浦支部の齊藤孝司、射友会支部の萩野谷綾子が引き続き担当し、今年度から水戸桜川支部の圓城寺賢一が新たに加入することになりました。よろしくお願ひ致します。  
みなさんが気持ち良く大会に臨めるよう競技部歴代の部長を中心とする多くの競技役員の方々が運営されて、そのノウハウが蓄積されてきました。私自身も何も疑問も持

たずに多くの大会に参加して参りました。競技規則も大会運営には欠かせないものであることは頭では理解しているつもりでいまして、いざ大会運営する立場で競技規則を考え直してみますと、様々な場面に対応しなければならぬことに驚かされるばかりです。改めて立場の重大さに身の引き締まる思いであります。

みなさんのご協力ご支援をいただきながら、大会運営に努めて参りたいと考えているところです。

### 1. 今年度の大会運営について

昨年度までは2年後に開催される茨城国体開催のための茨城県武道館改修工事のために、いくつかの大会を実施することができませんでした。今年度は競技大会実施要項に基づく9大会は実施できる運びとなりました。しかし、武道館の日程調整はたいへん困難な状況であるため、例えば県民総体は県選手権大会の予選を兼ねて実施されることとなります。また、毎年9月初旬に行われていた中野杯記念大会が8月6日に、夏季錬成大会は9月3日に開催されることになっております。この2大会については、例年とはやや異なる時期の開催となります。

会も含めて、すべての大会に奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

### 2. 茨城国体に向けての競技役員 の分担について

平成31年に開催されます茨城国体を成功に導くためには2年間に県内で行われる大会を通じて本番に備えていく必要があります。国体組織図の担当委員の方々の連携を図ることが急務であると考えています。したがって、今年度の大会運営を近似的担当委員と遠的担当委員の交互に分担することにした。従来の競技部以外の多くの方々に大会運営をお願いすることになります。大会運営を通じて各担当者の連携を深めていただくことが重要です。本番の国体を成功に導くための準備が始まると考えていたと思います。

### 3. 「安全」「公平」であること

安全についてはいうまでもないことですが、適正な弓具を使用することを前提として競技中の十分な安全配慮をお願い致します。競技中に危険を感じるようなことがありましたら、遠慮することなく競技役員にお申し出下さい。公平さについては、試合をする以上誰でも「勝ちたい」「良い成績を出したい」と考えておられる

と思います。そのような気持ちで損ねないためにも競技規則に則った公平な競技運営がなされなければなりません。みなさんに不満が残らないような競技運営に努めて参りたいと考えております。この点に関してもみなさんのご協力をお願い致します。

競技部の一員として、より多くのみなさんに大会に参加いただくことが最も大切な事です。大会に参加することによって充実感が得られ、結果的に技術向上につながるような大会運営をすることを目指していきたくと考えております。どうぞよろしくお願い致します。

## 強化部

部長 高木 勉



強化部長を仰せつかり一年が経ちました。未熟な点や、至ら

なかつた点など、多々あつたかと思いますが、久保田会長をはじめ役員の先生方、強化部員、皆さまのサポートで無事一年目を終了することができました。心より感謝申し上げます。

今年度も一層の努力を致す所存でございますので、何卒ご指導ご

協力を賜りますようお願い致します。

### H28年度の成績

8月21日(日)関東ブロック大会  
(山梨県小瀬スポーツセンター弓道場)

8県中4県関東ブロック通過  
成年男子

近的 16中 7位

遠的 126点 6位

総合 8位

成年女子

近的 17中 1位

遠的 102点 5位

総合 1位

いわて国体(奥州市水沢弓道場)  
10月7日(金)~10日(月)

成年女子

(遠的、近的上位8位まで通過)

遠的 予選112点 2位通過

決勝 一回戦敗退

5~8位決定戦 7位

近的 予選16中9位予選不通過

成年女子は本国体に出場し遠的7位に入賞しました。県武道館が改修工事で使用できないなか入賞することができたのも、選手の努力とチームワーク。またご指導を

頂いた先生方のお蔭です。大変ありがとうございます。

成年男子は関東ブロックを通る

ことが出来ませんでした。「勝つてあたりまえ、通らなければならぬ」という気持ちのなかで通過するむずかしさを感じました。

また関東ブロック会場の山梨県甲府市、本国体会場の岩手県水沢市と遠距離にもかかわらず、会場まで応援に来て頂きました皆さまには感謝申し上げます。

久保田会長は普段の練習では中々いても試合でダメなのは自分自信の気持ちのコントロールが出来ていない。技術も大事だが、心のトレーニングをするのも大事である。と言われていきます。関東ブロック、本国体と勝ち抜く為には、技術的なことはもちろん、体力・精神力も強くなければなりません。

今年の選手強化、愛媛国体に向けては、  
・関東ブロック大会、本国体の雰囲気にもまれないように他県との合同練習で、本番に近い環境での強化練習を行う。

・一つの目標に向かってのチームワーク。3人の立ちで自分の力を最大限に発揮できるように練習をする。

・新しい人材の育成(国体強化に参加し易い雰囲気づくり、本国体の雰囲気を経験)、及び国体



出場経験者のさらなるレベルアップ。チーム力、個人の射技・射法の向上に努める。

本国体での予選通過ラインは男子近的21中・遠的150点、女子近的17中・遠的120点くらいになります。それをクリアするためにも、毎回自分なりに目標を持って緊張感の中一射に集中して引くこと、普段から自分に足りない部分を補った練習をする。

日頃練習の中で選手と監督のコミュニケーションを図り、選手が何を注意してどのような引き方をしているかを把握・理解することが大切です。選手、強化部が共に努力し本国体を目指していきます。

### 施設部

部長 園部 俊雄



引き続き施設部を担当させていただきますので宜しくお願い致します。

平成27年度より2019年開催の茨城県国体に向けて施設の充実のため大改修工事が始まり平成28年度で改修工事は終了しました。平成27年度はトイレの改修工事、柔道場、近的場控室には空調設備

が、近的場には日除け防止のボードが的場裏側に設置され、そして平成28年度は遠的射場の拡張と恒久的的場の設置工事、近的場に観客席が新設され一応大改修工事は終了しました。道場を利用する環境が大幅に改善されて大変喜ばしい限りです。但し、国体開催の時は遠的場の観客席と矢返し通路については仮設対応になるのかと

思っております。平成29年度の県連行事は従来通りの行事が計画されましたが安土の整備で約2週間の工事が予定されております。安土整備期間中は不便になりますがご協力をお願いします。平成29年度の大きな行事は6月24・25日関東北学校指導者育成講習会、11月11・12日関東地区錬士臨時中央審査会、1月20・21日関東教職員指導者講習会、2月24・25日外部講師招聘講習会等が予定されています。各種行事が支障なく進行されるよう協力して行きたいと思っております。そして大会等については我々施設部員一同が競技部役員と協力しながら今年度も競技運営に支障のないよう努力して行きますので宜しくお願いします。

## 地区だより

### 日立地区

日立金属支部 川野辺 道男  
(前日立市弓道連盟会長)

平成25年5月に入って、日立市の市民大会や県北振興会等を利用してきた日立製作所会瀬弓道場が9月30日を以って閉鎖されるという情報が入り、これには皆びつくりしました。同じように永い間借用してきた日鉾道館も、老朽化により一般の使用は出来ないため、日頃の稽古は勿論、市民の各弓道大会も開くことが出来なくなってしまうました。丁度その頃、市教育委員会より東北・関東大震災で被災し、使用不能となっていた池の川にある体育館の再建にあたり、日立市弓道連盟にも話を聞きたいと連絡があり、早速出向き建設の話の伺いました。その話の中には弓道場建設の話もあり、是非弓道場を作っていただけのような要請し、その規模も市民大会を開ける6人立ちの出来る大きさが欲しいことを強く伝えました。体育館の完成は平成28年度中というところで完成まで3年間は市民大会等を開くことが出来ず残念ではありましたが、弓道場の建設が決まってひと安心でした。それからの約3年間は稽古をするところを見つけたことも大変で、会員各位の努力に任せるほか方法はなく、苦勞をおかけしたことを思います。旧体育館の解体、そして再建築を一日千秋の思いで待っていました。平成29年1月21日、池の川さくらアリーナと命名され完成式典が執り行なわれ、翌週の29日には、道場開きと市民弓道大会を開催することができました。道場開きを行うに当たっては、射場内に国旗、市旗、射法八節その他の飾り付けをすると共に、安土の手直し等も大変でしたが、各支部の皆さんのご協力を頂き見違えるような安土になりました。この作業の為に、特に日製日立の部員の皆さんに格段のご協力を頂きましたことに厚く感謝致します。そして2月18日、池の川さくらアリーナ開館記念フェスティバルでは、弓道の部で弓道体験教室を開きました。普段弓具に触れたことのない子供や、一般の方々が大勢参加し、実際に弓、矢に触れ、弓を引いて的に当たる体験をしました。参加者は総勢340名に達し大盛況のうちに無事終了することができました。

### 水戸地区

水戸地区理事 萩沼 信子

光陰矢の如しと申しますが、月日のたつのは早いものです。最近つくづくそう感じます。今年に入って顔見知りの先生方がお亡くなりになり、とても寂しく思っております。

去る3月25日に勝田支部名誉会長の手塚栄先生(教士六段)が亡くなられました。91歳になられたとお聞きしております。今から40年前、勝田市内には残念ながら弓道場はありませんでした。以前



は、日立製作所の施設で弓道場がありました。そこも老朽化のため取り壊しとなってしまいました。そこには大村寿雄先生や仲野智善先生が居られて指導をしていただきました。

近くの弓道施設で利用可能だったのは、水戸市のスポーツセンター（東町）弓道場でしたが、その頃は自家用車が今ほど普及していませんでしたので、なかなか遠くまでは練習に行くことが出来ませんでした。

そんな時、手塚先生（手塚セメント工業社長）は会社の一部屋を開放して下さり、巻藁を置いて、週末は会員が集まり練習に励ましました。天気の良い日は、線路脇の細い空地に仮矢場を作り、古畳や砂袋を用意し、藁座を敷いての練習でしたから、先生は本当に大変だったと思います。

数年はその様な状態でしたが、皆様の想いを通じ、松戸に体育館が建設される折に弓道場も併設されることになりました。手塚先生のご助力あってのこととおもっています。3人立ちの小さな弓道場ですが作っていただくまでは本当に大変でした。先生には心から感謝しております。先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

有難うございました。

その後、那珂湊市にも、菊池豊武先生や矢吹三郎先生の想いが叶い、弓道場が建てられました。那珂湊市は古い町で、昔から弓道が大変盛んだったそうです。市内の神社の境内には小さいながらも弓道場があったと聞きます。戦後、みんな壊されてしまつて弓道人としては、道場建設は念願だったと思います。

その後、水戸市にも県武道館が建設され、自家用車も今は一人一台の時代になり、いろいろな道場で練習することも可能となりました。ときどきは、この様な先生方がおられ、その弓道に対する情熱や想いを受け止め、感謝し、これからも弓道の練習を怠りなく続けていきたいと思っております。

良い仲間と共に……

### 石岡地区

石岡地区理事 荻原 裕一

石岡地区の原稿は、各支部長に活動報告や写真提供をお願いしてまとめています。

美野里支部揃つての練習は土曜の午後で、初めに一手座射をしたり、一本ずつ引いたり、各々調整しています。ほとんど毎日少教精

鋭の何人かが練習しています。

桐弓会支部は会員が6名です。石岡市支部は30名で、第17回石岡市親善武道大会弓道の部を主催し、月例射会、30射会、花見射会、芹澤杯50射会、古稀・傘寿祝賀射会等を実施しています。毎年8月～10月に弓道教室を実施し、36期2666名余の卒業生を輩出しています。昼間の活動が主なため、若い会員獲得の困難が悩みです。シニア中心の毎日の活動は、弓道を通じた親睦や健康維持に大きく寄与していると考えます。通常は3人立ちの芹澤記念弓道場で稽古及び射会をしています。伝達講習や審査前には、八郷運動公園内の石岡市弓道場で5人立ちの稽古や射礼、一つの射礼の稽古も行っています。

空自百里支部は11名で、昨年50周年を迎えました。今年1000射会を企画しています。昨年2部門で個人優勝した全自衛隊大会の上位入賞を今年も狙います。玉里酔心館支部は、正月早々に訃報が舞い込みました。支部長の須田勝先生が1月1日に滑落事故で帰らぬ人となってしまったのです。写真は2年前の11月29日、創立30周年記念射会の矢渡しですが、これが最後の矢渡しになってしま

いました。ご冥福をお祈りいたします。悪いことは続くもので、弓道場の在る焼却場の拡張工事が始まるの理由から、道場を撤去して更地にして返還することになりました。たとえ須田先生がご存命であっても、道場は3月末で解体される運命だったので、今年2月に弓具を引き払いました。幸いにして近くの石岡商業高校の弓道場の夜間一般開放を借用しています。玉里酔心館支部は新年度から心機一転で邁進してまいりますので、宜しくお願い致します。

### 土浦地区

地区理事(阿見支部) 河合 徹

土浦地区各支部の近況を紹介いたします。今回投稿を頂いた支部は土浦支部、土浦亀城支部、霞ヶ浦支部、阿見支部、筑波北条支部、つくば市支部です。

#### 土浦市支部

土浦市支部の最大の行事は、「土浦桜まつり弓道大会」です。今年53回目にあたり、4月1日(土)に学生の部、2日(日)に一般の部が開かれました。参加者は中学生99名、高校生322名、一般208名の合わせて629名に参加して戴きました。ありがとうございました。



桜まつり弓道大会開会式



桜まつり弓道大会の風景

今年の一一般の部では、射詰優勝は相原利恵さん、射込優勝は大田喜美子さんと、女性の活躍が素晴らしい大会となりました。

会員の構成は、教士1名、錬士14名、有段者38名で、合わせて53名です。昇段試験を受ける会員も多く、実績を伸ばしています。支部の練習は、火曜日と金曜日で、月例会は第2土曜日に行つて

います。入会したいという希望者には練習日に体験していただいでから入会を勧めています。会員どうし楽しい弓を引き続けていきたくと願っています。

**土浦亀城支部**

土浦亀城支部では毎年8月の練成会は伝達講習会を開催しています。7月の支部指導者講習会に参加した称号者を中心として、伝達事項の確認と体配のさらなるレベルアップを目指し、時間の許されるまで真剣に講習を行います。

執弓の姿勢から始まり、入退場・細かな体配の注意点の確認を行い、最後に一手行射を一次審査要領で行いました。普段以上に細かなところまで、丁寧に確認をしながらの行射は真剣そのものでした。快い疲労感と共に講習会を終了いたしました。

**霞ヶ浦支部**

当年度としても例年並の活動を実施することが出来た。なお会員は30数名と横ばいである。支部主催大会としては

- (a) 鹿島神社奉納射会 (5月5日)
- (b) かすみがうら市長杯(9月18日)
- (c) かすみがうら市民ふれあいスポーツフェア(弓道体験)

(d) 武道大会(弓道の部)(同上) (10月11日)

(e) 月例射会(毎月第2土曜日) 参加者は10数名ないし30数名とほぼ横ばいであるが、比較的活況といえる。

また、これらの大会を通じ地域の潜在弓道人の掘り起こしに努めている。なお平成19年からは、従来の弓道教室をより活性化させるため、かすみがうら総合型地域スポーツクラブの発足に伴い弓道部としてそのプログラムに参画し常時体験希望者(毎月第1日曜日)を受け入れ、底辺の拡大に取り組んでいる。

近年ホームページを開設し広域での会員募集をしている。意欲的な若者たちが入会するようになってきており、活性化に貢献してくれている。

また地元かすみがうら中学校の部活の一環として受け入れて、希望者は部員登録を行い(現在3名)学校の部活動と弓道部員として地域スポーツ活動の両立をはかっている。

**阿見支部**

阿見支部は総勢10名の小規模支部ですが、昨年は県民総体、県選手権大会、中野杯、遠的大会などの県連主催の試合への参加はもちろん各種講習会の参加、伝達講習会の実施など活発に活動しており

ます。普段の稽古も月水金の午前中と土日の午後に行っており、特に次の称号者を育てるべく持的射礼を中心に稽古を行っています。また6月に実施される阿見町立中学校3校による阿見町中学校弓道大会の支援を行い後輩の育成にも頑張っております。

まだ県連登録は済ませていませんが新人も数名おり初段取得を目指し日々稽古に精進しております。

**筑波北条支部**

当支部は平成25年春に筑波高校弓道場を拠点として発足した。当初は筑波高校弓道部の卒業生10名と顧問土居義邦の計11名であった。支部の事業目的の一つに高校弓道部出身者を社会人で続けさせることであり、練習会、OB会集まり、親睦会等を催している。しかしながら、現在は大学、専門学校の学業の専念や、就職先の都合(土日出勤)で会員は7名である。定例の練習日は週1回で18時より2時間程度練習をしている。トビックスは平成28年度は長谷川絵鈴が大学から戻り、国体選手として遠的7位の活躍をした。今年も強化選手として更なる飛躍に向け修練を奮闘努力中である。また、親睦会として今年6月4日(日)に結婚披露

パーティーを催している。披露した鈴木夫妻は同校の弓道部出身のおしどり夫婦で、参加者はOB22名を含み関係先の先生方と祝った。当支部は小さいながら弓道の発展に寄与する支部を目指して活動を続けている。

**つくば市支部**

つくば市支部は、つくば市近隣に在住する社会人を中心として構成されています。当支部は「桜一射会」という名称でも活動しており、筑波大学蓬矢弓道場を拠点として、松尾牧則先生に師事しております。会員は高校・大学時代に弓を引いていた経験者のほか、筑波大学の弓道公開講座にて弓を始めた初心者も多く、様々な層が和気あいあいと自由な雰囲気です。

日置流印西派の射術を学んでいることも、当会の大きな特徴となっています。

稽古は土・日・祝日の午後をメインに行っており、月に一度の例会などの各種行事にも多くの会員が参加しています。県連主催の大会のほか、近隣市町村や県外の大にも積極的に参加する会員もあり、各地で好成績を収めています。弓道を始めたばかりの初心者でも気軽に入会できるといふ当会の

雰囲気を活かし、弓道人口の拡大に努めていきたいと思います。

**県西地区**

県西地区理事 鶴見 富雄

**下館支部**

茨城県弓道連盟下館支部は、支部としての役割を果たしながら、「下館真射会」の名称で、「弓道は楽しみたいが連盟登録までは」といふ会員を含めて地域の弓道クラブとしても活躍しています。

また、筑西市体育協会の「弓道部」としての役割も担っています。会員数は例年、概ね70名、そのうち連盟登録者が50名弱程度で推移しています。

今回は、年間行事を紹介いたします。5月・若葉射会・パーベキュー大会 会員の親睦のための射会です。まず一人10射の個人戦を行います。次に、個人的中数にに応じてチームを編成し団体戦を行います。正午近くに射会が終わると、場所を移動しパーベキュー大会を開きます。どちらかという射会よりもこちらを楽しみにしています。

6月・市民体育大会 市内の高等学校の弓道部を招いて体育協会弓道部の立場として大会を運営します。



7月…夏季錬成大会  
市立武道館行事の一環として行われます。やはり市内の高等学校の弓道部を招いて本会が運営します。

8月…50射会

会員の的中向上を目指し、矢数をかける大会です。以前は1000射会を行ったこともありましたが近年は行われていません。

9月…月見射会

中秋の名月を愛でる射会です。毎年十五夜の前後の土曜日の夜に開催します。的中もさることながら点数的、闊的など余興的要素が盛り込まれています。

10月…筑西市長杯

市内の高校生を招いての大会です。体育協会弓道部として運営にあたります。

11月…月例射会

以前には唯一射会がなかった月だったため、誕生した大会です。

12月…納射会(大掃除・忘年会)

午前中に道場の大掃除、あずちの整備などを行います。終了後に射会夜には忘年会を行います。忙しい一日ですが、参加者が一番多い行事です。夜の忘年会ではその年の昇段・昇格者に鉢植えの花を贈る慣わしがあります。

1月…射初会

例年1月2日に開催されます。

祝射一手と四矢による競技のほか、金的、出世的などで新年を祝います。

同…冬季錬成会

夏季錬成会と同様に行われます。

2月…50射会

夏の50射会と同様に行われます。

3月…弥生射会

会員のみて行われ、年度を締めする射会となっています。

他に、弓道教室の開催、講習会の開催、県西地区4支部で協力して行う県西弓道大会の開催などがあります。誌面の都合上次回に譲ります。

### 県南地区

蒼藤会支部 菊地 祐太

県南地区は、蒼藤会支部(10名)、牛久地区(33名)、稲敷市支部(17名)、取手支部(52名)、藤代支部(24名)、守谷支部(1名)、竜ヶ崎支部(22名)の七支部があり、一般132名、錬士20名、教士6名、範士1名の計159名が会員登録しております。(平成29年3月末時点)

県南地区での主な大会として、県南地区の支部が主催となつて開催される県南弓道大会があります。今年10月22日に開催を予定して

おります。県南弓道大会は、毎年多くの方々にご参加頂きまして、今年で第24回目の開催となります。

県南弓道大会は、取手グリーンスポーツセンターの弓道場に於きまして、毎年秋口に開催しており、一般の部と高校の部があり、毎年約300名ほどの参加者の集まる大会であります。参加者の6割以上は高校生の参加者であり、秋口の開催ということもあり、新人戦を控えた高校生達の腕試しの場としての役割も果たしております。

最近取手グリーンスポーツセンター弓道場の矢道横の観覧席のガラスを一新し、本来の観覧席としての役割を取り戻したため、高校弓道部の顧問の先生や応援の部員達、部員の父兄の方々などに試合をご覧いただけるようになり、大変ご好評頂いております。また、取手グリーンスポーツセンターには弓道場の他にも、プール・体育館・トレーニングジム・柔道場などの施設が併設してありますので、弓道を今まで間近で見たことのない方々にも、弓道を知って頂く機会になっております。

また、これは個人の考えですが、こういった高校と一般が同じ場所です。引くという機会を増やす事で、高校生に一般の弓を見て

### 鹿島地区

三菱ケミカル支部 堀川 正文

当支部は鹿島臨海コンビナートの東部地区にある三菱ケミカル社に勤める従業員、並びにOB会員で構成しています。会員の登録人数は、現在7名の少人数であり、会員増が課題です。近隣の神栖支部とも神栖市弓道連盟の加入を通して、交流も行っています。

当支部の前身は、三菱油化支部です。平成6年に当時の三菱化成と三菱油化が合併、三菱化学(現三菱ケミカル)となり、神栖、波崎支部に所属していた旧三菱化成の会員は、それまでの支部との関係を考えて、元の支部に残るもの、新三菱化学(ケミカル)支部に移るものに分かれ、現在に至っています。

【弓道場について】  
現在、練習の基盤は、三菱ケミ

カル社の波崎地区にある事業所の弓道場で行っています。この弓道場は、平成2年に建築したもので、通常は3人立で利用しています。5人の団体戦の練習には窮屈のため、神栖市の弓道場を借りて練習することもあります。

### 【支部の活動】

企業内の支部活動が中心のため和気あいあいの雰囲気とそれほど形式を厳しくせずに、新人にも広く門戸を広げ、底辺を広げようとの考えで、社内の弓道教室を開催したり、新人を勧誘し指導して会員数を増やしています。

本支部の活動は、個人主体というより、団体戦のチームワークを強みとして、これまで歴史が浅い中でも地域の大会や、勤労者の大会、及び全国の三菱系企業の大会で好成績を挙げており、その際には他支部所属者も企業として合流し大会に臨みます。全国三菱系企業の春の大会は東日本地域対象で、東京・巣鴨の三菱養和会弓道場で、秋の全国大会は、明治神宮至誠館弓道場で開催される大会です。競技主体の活動ではありませんが、少ない中でも昇段への挑戦と会員数を増やして支部を盛り上げていきたいと考えています。

会議報告

県外

関東地域弓道連盟連合会会議

(久保田 清 H28/4/7)

関東地域評議員会議

(久保田 清 H28/6/23)

関東地域弓道連盟連合会会議

(久保田 清 H28/8/20)

全国地連会長会議

(久保田 清 H28/11/29)

県内

総務企画委員会

(武道館 H28/7/14)

専門部長会議

(武道館 H29/2/1)

総務企画委員会

(武道館 H29/2/2)

理事会

(茨城県職業人材育成センター H29/5/13)

代議員会

(茨城県職業人材育成センター H29/5/28)

(茨城県職業人材育成センター H29/5/28)

研修事業報告

県外

(関東北)

地区指導者講習会

(上尾市 H28/6/4~5)

海老根芳江、森 昭夫、

小堀 富男、後藤 裕一、

大峰 芳樹

[関東北]

地区指導者育成講習会

(千葉市 H28/6/4~5)

小出 則行、境 貴洋、

菊地 俊和、山口 純、

相原 利恵

中央研修会 なし

講師・審査委員研修会

(H28/4/10 水戸 36名)

第1回 五段講習会

(H28/4/30 神栖 27名)

第1回 三四段講習会

(H28/6/4 水戸 57名)

支部指導者伝達講習会

(H28/6/26 水戸 48名)

高校審判実技講習会

(H28/7/16 水戸 87名)

第1回 錬士講習会

(H28/7/17 水戸 62名)

関東・東北 学校指導者講習会

(H28/7/23 水戸 34名)

(H28/7/24 水戸 34名)

第1回 教士講習会

(H28/7/30 水戸 27名)

第2回 五段講習会

(H28/8/20 水戸 35名)

第2回 三四段講習会

(H28/8/27 土浦 46名)

教職員講習会

(H28/9/3 土浦 13名)

第2回 錬士講習会

(H28/9/25 神栖 37名)

第2回 教士講習会

(H28/10/8 神栖 9名)

述べ参加者数 552名

県外大会 一般

第63回全日本勤労者弓道選手権大会

(愛媛県松山市 H28/6/10~12)

・日立製作所茨城A

(尾吹将大、森實裕人、久保田亮)

3位入賞

・日立製作所茨城B

(新山晃一、串間有紀子、富樫至)

第54回関東教職員弓道大会

(山梨県甲府市 H28/7/23)

・男子団体優勝 茨城Aチーム

(中嶋鉄郎、栗田克紀、星 浩一)

・男子個人 第3位 栗田 克紀

・女子個人 第3位 根岸 美里

第71回国民体育大会

関東ブロック大会

(山梨県 H28/8/21)

・少年男子

近の2位、遠の8位、

総合 5位

・少年女子

近の3位、遠の7位、

総合 6位

・成年男子

近の7位、遠の6位、

総合 8位

・成年女子

近の1位、遠の5位、

総合 1位：関東ブロック通過

第57回関東地域弓道選抜選手権大会

(水戸市 H28/9/11)

・有段者の部 4位

全弓連賞 中根 奈津美

・称号者の部 2位

全弓連賞 米山 良美

・称号者の部

射技優秀賞 後藤 裕一

第67回全日本男子弓道選手権大会

(東京都 H28/9/16~18)

・米山 良美、中嶋 鉄郎

第49回全日本女子弓道選手権大会

(皇后杯)

(東京都 H28/9/18~20)

・石井 幸子、柴原一利子

第71回国民体育大会

(岩手県 H28/10/7~10)

・成年女子

(長谷川絵鈴、相原 利恵、

中根奈津美) 遠の7位入賞

第29回ねりんピック長崎大会

(島原市 H28/10/15~17)

根本 信哉、寺本 貞光

越川 春江、佐藤 至學

矢崎 一男、高橋 政行

大友 実、沖田 紀子

第66回全日本弓道遠的選手権大会

(東京都 H28/10/21~23)

・男子の部(高木 勉、平戸信行)

・女子の部(相原利恵(決勝進出)、

中根奈津美)

平成28年度

明治神宮奉納全国弓道大会

(東京都 H28/11/3)

・有段者の部

2位 川端 達夫

9位 五賀 友継

・称号者の部

7位 米山 良美

県外大会 高体連

第60回関東高等学校弓道大会

(栃木県 H28/6/3~5)

・男子団体の部

準優勝 清真学園

予選通過 佐和

予選敗退 取手第一、鹿島、佐竹



男子個人の部  
第3位 菊池 凜(清真学園)

女子団体の部  
予選敗退 石岡第一、水戸第二、境、太田第一、鉾田第二

女子個人の部  
第4位 菊池 凜(清真学園)

第5位 宮川 晃弥(清真学園)

女子の部  
第8位 佐川 眞穂(水戸第二)

第61回全国高校弓道大会

(鳥取県 H28/8/3~6)

男子団体の部  
優勝 清真学園

女子団体の部  
予選通過 佐和

男子個人の部  
予選敗退

長山 優希(佐竹)

川村 希理(水戸桜ノ牧)

女子個人の部  
予選敗退

永塚 笑里(古河第二)

稲葉以津美(江戸川学園)

予選敗退

(東京都 H28/9/10~11)

男子の部

第4位 菊池 凜(清真学園)

第5位 宮川 晃弥(清真学園)

女子の部

第8位 佐川 眞穂(水戸第二)

第35回全国高等学校弓道選抜大会

(愛知県 H28/12/23~25)

男子団体の部  
優勝 清真学園高等学校

女子団体の部  
予選敗退 清真学園高等学校

男子個人の部  
決勝進出 山口 龍馬(石一)

予選敗退 渡邊 和真(館一)

女子個人の部  
準決勝進出 中村 由菜(土日)

予選敗退 渡邊 里沙(日北)

予選敗退 中村 由菜(土日)

予選敗退 渡邊 里沙(日北)

第16回東日本高等学校弓道大会

(埼玉県 H29/3/18~20)

5人制男子の部

決勝T進出 清真学園、鹿島

予選敗退 下妻第一、下館第一

5人制女子の部

決勝T進出 清真学園

予選敗退 土浦日大、佐和

3人制男子の部

第2位 清真学園

予選敗退 下妻第一、下館第一、

3人制女子の部

決勝T進出 佐和、清真学園

予選敗退 土浦日大

県外大会 中体連

(中央 H28/8/20~21)

個人男子の部

2位 青木 一航(清真学園中)

団体男子の部

3位 清真学園中

団体女子の部

優勝 清真学園中

連盟後援行事

土浦桜祭り大会

(土浦 H28/4/2~3)

村松山弓道大会

(東海村 H28/4/3)

鹿島神宮弓道大会

(鹿島 H28/4/29)

神栖弓道大会

(神栖 H28/5/8)

あやめ祭り弓道大会

(潮来 H28/6/5)

県南弓道大会

(下館 H29/1/9)

観梅弓道大会

(水戸 H29/3/4)

茨城県弓道連盟主催(主管)県内大会結果

選手権決勝大会

H28/5/15

有段者男子の部

最高得点賞 高柳 雄大

優勝 桑原 恒夫

準優勝 畑 諒祐

第3位 高柳 雄大

有段者女子の部

最高得点賞 中根奈津美

優勝 中根奈津美

準優勝 上馬 英子

第3位 遠藤 茉亜

称号者男子の部

最高得点賞 米山 良美

優勝 鈴木正太郎

準優勝 後藤 裕一

第3位 米山 良美

称号者女子の部

最高得点賞 柴原一利子

優勝 黒澤 智子

準優勝 柴田 隆子

皇后杯  
派遣候補選手 柴原一利子  
石井 幸子

関東選手権有段

派遣候補選手 桑原 恒夫

中根奈津美

畑 諒祐

高柳 雄大

新山 晃一

関東選手権称号

派遣候補選手 鈴木正太郎

後藤 裕一

小堀 富男

米山 良美

黒澤 智子

県民総体

H28/6/12

男子三段以下

優勝 畑 諒祐

準優勝 星野 翔大

第3位 平須賀 功

男子四段以上

優勝 岩下 智明

準優勝 小形 佳昭

第3位 藤田 大悟

女子三段以下

優勝 根本 汐織

準優勝 寶木彩百合

第35回関東高等学校

弓道個人選手権選抜大会

総合 6位(不通過)

近的 3位、遠的 7位、

少年女子の部

総合 5位(不通過)

近的 2位、遠的 8位、

少年男子の部

鹿島

鹿島

鹿島

鹿島

鹿島

第3位 林 奈穂

▼女子四段以上

優勝 中根奈津美

準優勝 長谷川絵鈴

第3位 松崎 令子

▼称号受有者

優勝 石塚 美志

準優勝 正根寺 洋

第3位 後藤 裕一

遠の大会

H28/7/31

▼男四段以下

優勝 久保田 亮

準優勝 木元 雄太

第3位 平根 伸彦

▼男五段以上

優勝 平戸 信行

準優勝 高木 勉

第3位 河内 史彦

▼女四段以下

優勝 根本 汐織

準優勝 長谷川絵鈴

第3位 福田 直子

▼女五段以上

優勝 中根奈津美

準優勝 相原 利恵

第3位 上田 有香

中野杯

H28/9/4

▼男子の部

優勝 岩下 智明

準優勝 笹沼 健一

第3位 山田 幸一

▼女子の部

優勝 相原 利恵

準優勝 宮田はるみ

第3位 長谷川絵鈴

▼称号受有者

優勝 石田 昌嗣

準優勝 高木 勉

第3位 関島 勝

ネンリン予選

H29/3/13

▼選手候補

山次禎治郎、古俣 正喜、

飛田 力男、鈴木正太郎、

萩沼 信子

▼監督/交代選手

木村 薫、岩間 捷雄

齋藤ミユキ

勤労者予選会

H29/3/12

▼団体戦

優勝 日製(日立) A

準優勝 日製(日立) B

▼個人戦

優勝 平根 伸彦

準優勝 久保田 亮

茨城県教職員弓道連盟県内大会結果

春季大会

H28/4/30

▼男子の部

優勝 千葉 一茂

準優勝 松崎 稔昌

第3位 辻 尚宏

▼女子の部

優勝 相原 利恵

準優勝 大金喜代子

第3位 根岸 美里

▼総合の部

優勝 千葉 一茂

秋季大会

H28/11/19

▼男子の部

優勝 後藤 裕一

準優勝 高橋 義之

第3位 福永 弘

▼女子の部

優勝 相原 利恵

準優勝 佐藤 敬子

第3位 大川都志子

▼総合の部

優勝 相原 利恵

高体連県内大会結果

春季大会 兼 関東大会県予選

H28/5/8 (女子)

H28/5/9 (男子)

▼男子団体

優勝 清真学園 A

準優勝 鹿島

第3位 佐和 A

▼女子団体

優勝 石岡第一

準優勝 水戸第二 D

第3位 太田第一 A

▼男子個人

優勝 塙 大和(清真)

準優勝 菊池 凜(清真)

第3位 椎名 優斗(桜牧)

▼女子個人

優勝 小倉 杏南(石二)

準優勝 富岡茉莉藻(佐和)

第3位 佐川 眞穂(水二)

高校総体予選 県民総体予選

H28/6/10・11・13

▼男子団体

優勝 清真学園

準優勝 佐竹

第3位 水戸桜ノ牧

▼女子団体

優勝 佐和

準優勝 水戸第二

第3位 水戸第一

▼男子個人

優勝 宮川 晃弥(清真)

準優勝 川村 希理(桜牧)

第3位 菊池 凜(清真)

▼女子個人

優勝 稲葉以津美(江学)

準優勝 永塚 笑里(古二)

第3位 杉田 史帆(守谷)

国体選手選考会

H28/6/18 (1次)

H28/6/22 (2次)

▼男子の部

候補選手 菊池 凜(清真)

塙 大和(清真)

宮川 晃弥(清真)

監督 佐久間和彰(清真)

▼女子の部

候補選手 小林 愛可(土三)

小沼 瑠璃(銚二)

監督 富岡茉莉藻(佐和)

土居 義邦(筑波)



県個人選手権兼  
関東個人選手権県予選会

準優勝 水戸桜ノ牧  
第3位 水戸第三

県高校弓道冬季大会

H29/1/28 (女子)  
H29/1/29 (男子)

優勝 清真学園  
準優勝 土浦第一  
第3位 東海

県新人大会

H28/11/25

男子団体 優勝 土浦第三  
準優勝 東海南  
第3位 猿島

男子総合

H28/8/16 (女子)  
H28/8/17 (男子)

男子個人

優勝 三好虎大朗(栄進)  
準優勝 大原 佑汰(那珂)  
第3位 三田 優真(那珂)

女子個人

優勝 神田万里奈(水一)  
準優勝 中村 由菜(日大)  
第3位 木村 水紀(常総)

女子総合

優勝 中村 由菜(土日)  
準優勝 安達佳菜恵(土三)  
第3位 富岡茉莉藻(佐和)

男子1年

男子団体

H28/11/5 (女子)  
H28/11/6 (男子)

男子個人

優勝 石川 早秋(太一)  
準優勝 宮川 隼弥(清真)  
第3位 前田 隼人(工科)

女子1年

女子団体

優勝 佐藤 妃夏(境)  
準優勝 砂押 美乃(那湊)  
第3位 川瀬 百香(土三)

準優勝

女子個人

優勝 清真学園A  
準優勝 鹿島A  
第3位 水戸第二A、太田第一

優勝

男子個人

優勝 山口 龍馬(石二)  
準優勝 渡邊 和真(館一)  
第3位 今枝 章弘(竜二)

準優勝

女子個人

優勝 木塚 梨渚(清真)  
準優勝 渡邊 里沙(日北)  
第3位 中村 由菜(土日)

女子団体

女子個人

優勝 清真学園  
準優勝 土浦日大  
第3位 佐和

準優勝

男子個人

優勝 石川 早秋(太一)  
準優勝 宮川 隼弥(清真)  
第3位 前田 隼人(工科)

第3位

女子個人

優勝 瀧澤なつみ(水城)  
準優勝 三浦 紫穂(江総)  
第3位 木塚 梨渚(清真)

準優勝

女子個人

優勝 土浦第一A  
準優勝 清真学園D  
第3位 清真学園A/東海南F

優勝

男子個人

優勝 ロッシ太郎(水戸二)  
準優勝 田崎 光(東海南)  
第3位 須藤 紘文(阿見)

準優勝

女子個人

優勝 高野 桜(土浦一)  
準優勝 上坊 志緒(清真)  
第3位 高菜 空(土浦一)

第3位

女子個人

優勝 高野 桜(土浦一)  
準優勝 上坊 志緒(清真)  
第3位 高菜 空(土浦一)

準優勝

男子個人

優勝 本橋 晃輝(城ノ内)  
準優勝 小林瑠輝亜(城ノ内)  
第3位 須藤 紘文(阿見)

優勝

女子個人

優勝 大槻 真子(清真)  
準優勝 仲澤 歩美(清真)  
第3位 佐藤まひる(東海)

準優勝

男子個人

優勝 山崎 真子(清真)  
準優勝 仲澤 歩美(清真)  
第3位 佐藤まひる(東海)

第3位

女子個人

優勝 山崎 真子(清真)  
準優勝 仲澤 歩美(清真)  
第3位 佐藤まひる(東海)

準優勝

男子個人

優勝 山崎 真子(清真)  
準優勝 仲澤 歩美(清真)  
第3位 佐藤まひる(東海)

優勝

女子個人

優勝 山崎 真子(清真)  
準優勝 仲澤 歩美(清真)  
第3位 佐藤まひる(東海)

準優勝

男子個人

優勝 山崎 真子(清真)  
準優勝 仲澤 歩美(清真)  
第3位 佐藤まひる(東海)

第3位

女子個人

優勝 山崎 真子(清真)  
準優勝 仲澤 歩美(清真)  
第3位 佐藤まひる(東海)

優勝

男子個人

優勝 山崎 真子(清真)  
準優勝 仲澤 歩美(清真)  
第3位 佐藤まひる(東海)

中野優勝旗大会

H28/8/27

男子団体

優勝 那珂

準優勝

水戸工業

第3位

下館第一

女子団体

優勝 水戸第一

準優勝

水戸工業

第3位

下館第一

中体連県内大会結果

H28/7/26

男子団体

優勝 清真学園

準優勝

土浦第三

第3位

土浦第一

女子団体

優勝 清真学園

準優勝

土浦第三

第3位

土浦第一

中野優勝旗大会

H28/8/5

男子団体

優勝 内原A

準優勝

阿見B

第3位

土浦第三A/東海南B

女子団体

優勝 土浦第一A

準優勝

清真学園D

第3位

清真学園A/東海南F

男子個人

優勝 ロッシ太郎(水戸二)

準優勝

田崎 光(東海南)

第3位

須藤 紘文(阿見)

女子個人

優勝 高野 桜(土浦一)

準優勝

上坊 志緒(清真)

第3位

高菜 空(土浦一)

男子個人

優勝 本橋 晃輝(城ノ内)

準優勝

小林瑠輝亜(城ノ内)

第3位

須藤 紘文(阿見)

女子個人

優勝 大槻 真子(清真)

準優勝

仲澤 歩美(清真)

第3位

佐藤まひる(東海)

武道フェスティバル

H28/11/3

男子の部

優勝 本橋 晃輝(城ノ内)

準優勝

小林瑠輝亜(城ノ内)

第3位

須藤 紘文(阿見)

女子の部

優勝 大槻 真子(清真)

準優勝

仲澤 歩美(清真)

第3位

佐藤まひる(東海)

## 平成28年度 中央(臨時)審査会 合格者

No	取得	氏名	所属	取得日	審査場所	審査合計	区分計
1	七段	福地 平	原子力機構	H28. 7. 2	【仙台】 定期中央審査		
2	教士	河合 徹	阿 見	H28. 5. 5	【京都】 定期中央審査		
3		堀江 栄	大 子	H28. 5.18	平成28年度推薦		
4		高羽 京子	射友会	H28. 7. 1	【仙台】 定期中央審査		
5	六段	木村 亜紀子	北 総	H28. 4.24	【関東】 臨時中央審査 (群馬)		
6		君島 洋子	取 手				
7		大内 和子	土 浦	H28. 7. 2	【仙台】 定期中央審査		
8		石塚 美志	土 浦	H28. 8.28	【北海道】 臨時中央審査会		
9		檜山 正富	湊	H28.11. 4	【東京】 定期中央審査		
10	錬士	千葉 一茂	土浦亀城	H28. 4.23	【関東】 臨時中央審査 (群馬)		
11		船越 忠	神 栖				
12		岡田 敏樹	龍ヶ崎	H28. 6.12	【北信越】 錬士臨時中央審査(富山)		
13		染谷 学	水戸桜川	H28. 8.13	【茨城】 特別教員臨時中央審査		
14		和栗 淳	友 部	H28.10.16	【関東】 錬士臨時中央審査(千葉)		
15		藤井 治	土 浦	H28.12.17	【東京】 特別臨時中央審査		
合 計							15名

## 平成28年度 連合審査会 合格者

No	取得	氏名	所属	取得日	審査場所	審査合計	区分計
1	五段	永塚 博	藤 代	H28. 6.12	【東京】 関東地域連合審査		
2		荒木 広大	土浦亀城	H28. 8.13	【茨城】 特別教員臨時中央審査		
3		杉山 義光	水戸桜川	H28. 9.19	【栃木】 関東地域連合審査		
4		高橋 静子	湊				
5		萩谷 明政	東 海				
6		藤田 大悟	取 手	H28.10. 2	【埼玉】 関東地域連合審査		
7		楠 登志子	取 手	H28.10.16	【茨城】 関東地域連合審査		
8		谷越 敏彦	水 戸				
9		須能 孝則	水 戸	H28.11.20	【東京】 関東地域連合審査		
合 計							9名